

**アジア・ゲートウェイ構想**  
**-外国人向けの映像による国際放送-**  
**(参考資料)**

平成19年4月12日  
総務省

## 諸外国における映像による情報発信強化の動き

### フランス

官民出資(折半)により、新放送局「フランス24」を設立し、昨年12月より、放送開始。運営経費は全て国費。

### イギリス

BBCが、アラビア語の映像国際放送を開始予定(今年秋)。

### カタール

王族抛出予算に基づくアラビア語放送「アルジャジーラ」が、昨年11月より、英語放送「アルジャジーラ・イングリッシュ」を開始。現地の衛星放送・CATVチャンネルに積極的に参入。

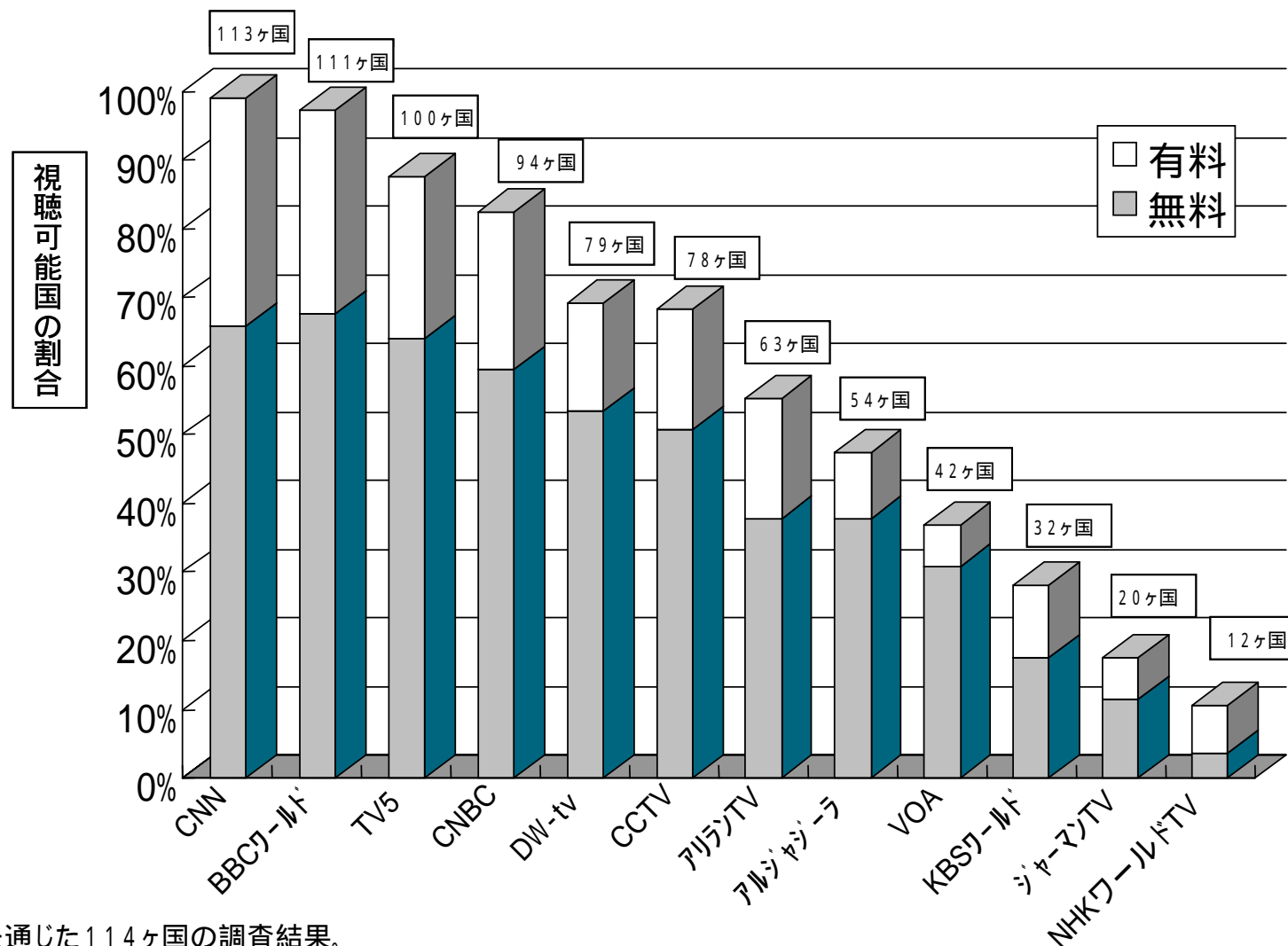
### 中国

国营放送CCTVが英語チャンネルの他、スペイン語・フランス語チャンネルを配信。現地の衛星放送・CATVチャンネルに積極的に参入(特に米国を重視、全米向け衛星放送のベーシックチャンネルやロスのCATVのベーシックチャンネルに参入)。太平洋地域では受信パラボラを設置、普及に努めている。

### 韓国

政府主導で設立されたアリランTVが、三つの英語チャンネル(中国語字幕、スペイン語字幕、アラビア語字幕)を配信。現地の衛星放送・CATVチャンネルに積極的に参入。

# チャンネル毎の視聴可能国数



- ・在外公館を通じた114ヶ国の調査結果。
- ・現地放送事業者経由再送信の場合、ベーシック・チャンネルに入っている場合は無料、プレミアム・チャンネルの場合は有料とカウントしている。
- ・NHKワールドTVのみは、上記114ヶ国のうち、正規契約による再送信を実施している国の数を示す。  
(Cバンド直接送信による視聴可能国は含まない。また、TVジャパンの一部として視聴している場合も含まない。)
- ・なお、NHKによれば、有料国際テレビサービスであるNHKプレミアムは98の国と地域で視聴可能であり、受信契約者は1500万余世帯いる。  
(資料: 外務省)

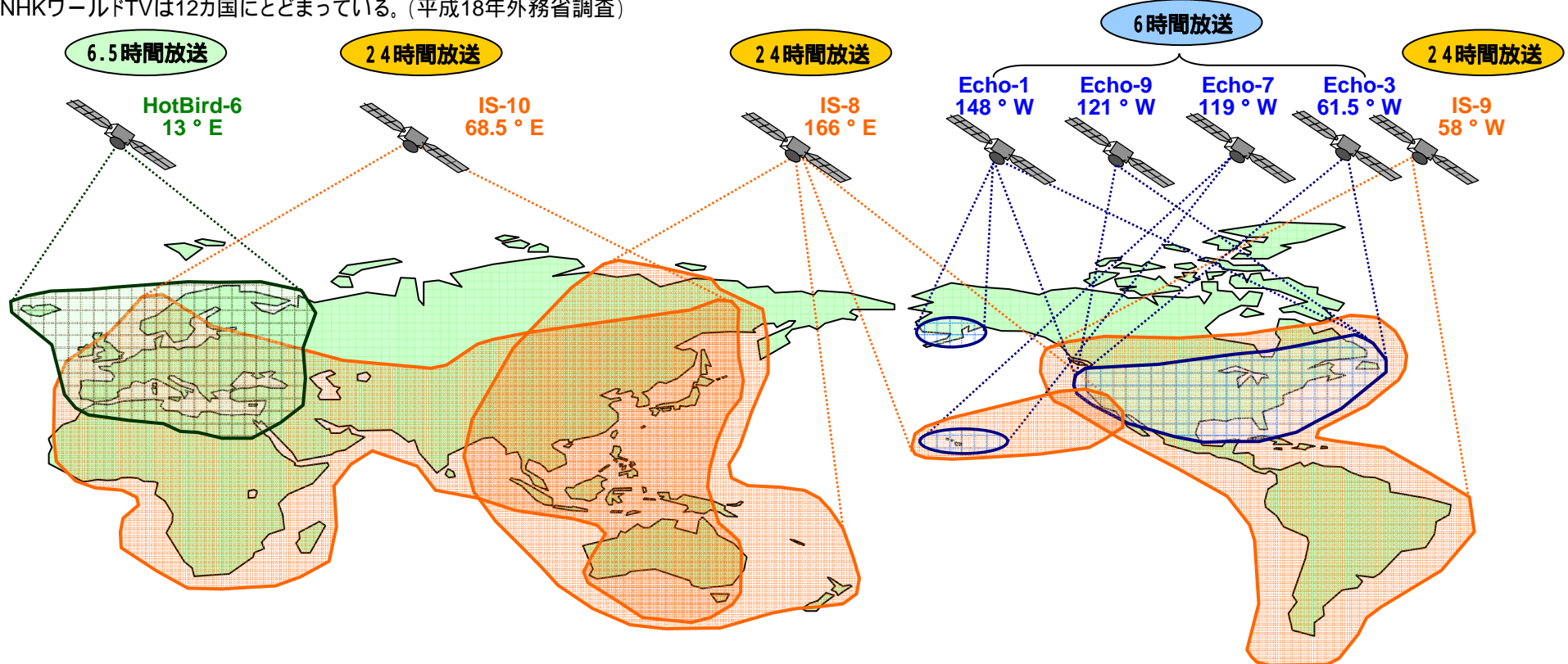
# 映像国際放送の現状と問題点

NHKが、外国衛星を利用した無料のテレビ国際放送「NHKワールドTV」を実施。在留邦人の居住地域をほぼ100%カバー。国内・アジア中心の国際ニュース及び情報番組が中心。一定のアンテナ及びチューナーを用いた直接受信の他、再送信により一部の衛星放送、ケーブルテレビなどでも視聴が可能。(Cバンドのアンテナは直径2.5~6m。Kuバンドのアンテナは直径50cm)



在留邦人も対象としているため、外国人向け番組としての位置づけが曖昧。番組の多くは、国内向け番組の再利用(字幕、音声多重による英語化)であり、当初から外国人の関心を意識した制作となっていない。直接受信は実際上困難であるため、幅広い視聴者を確保するためには、衛星放送、ケーブルテレビによる再送信が必要であるが、十分ではない。( )

世界の114カ国中、CNN(米国)は113カ国、BBCワールド(英国)は111カ国、CCTV(中国)は78カ国、アリランTV(韓国)は63カ国で再送信がなされているのに対して、NHKワールドTVは12カ国にとどまっている。(平成18年外務省調査)



# 映像国際放送強化をめぐるこれまでの経緯

我が国からの映像による国際放送については、これまでNHKが主に取り組んできたが不十分であるとの声の高まり  
欧米等において、国策的な観点から、国の支援の下で国際的な映像情報の発信を強化する動きが活発化

## 通信・放送の在り方に関する懇談会

日本のソフトパワーを強化し、世界に「日本ファン」を増やす  
グローバル化と人口減少が進む中、海外の目を日本に向けさせ、海外から日本に来る企業、観光客・留学生等の数を増大させることが必要



外国人向けの映像による英語国際放送を早期に開始すべき

## 自民党 電気通信調査会 通信・放送産業高度化小委員会

NHKは、現在主に海外の日本人向けに実施しているテレビ国際放送の英語化率を高めるなど、その充実に急ぎ取り組むべき

従来のテレビ国際放送とは別に、外国人向けの、世界に通用する新しい国際放送チャンネルの創設を検討すべき

このような放送は採算ベースに乗せることは極めて難しく、必要な国費の投入を検討することが必要

## 通信・放送の在り方に関する政府与党合意

新たに外国人向けの映像による国際放送を早期に開始する。その際、新たに子会社を設立し、民間の出資等を積極的に受け入れるとともに、必要な国費を投入する。

情報通信審議会に対して、「外国人向けの映像による国際放送」の在り方とその推進方策を諮問(18.8.1)  
「映像国際放送の在り方に関する検討委員会」設置、検討を開始(18.9.4)  
中間とりまとめ公表(18.12.21)、最終とりまとめ(19.5目途)

# 諸外国のテレビ国際放送

国名	サービス名 (実施機関)	経営形態	放送時間 (日)	使用言語	CH数	財源	運営経費 ( )
日本	NHKワールドTV (日本放送協会)	公共放送	24	日本語、英語	1	受信料	約48億円 (2007年度)
アメリカ	ボイス・オブ・アメリカ (BBG(放送管理委員会))	国営放送	24	25言語	1	政府予算	約183億円 (ラジオを含む。 2006年度)
イギリス	BBCワールド (BBCワールド社)	株式会社 (1)	24	英語	1	広告料 視聴契約料	約112億円 (2005年度)
ドイツ	DW-tv (ドイチェ・ベレ)	公共放送	24	ドイツ語、英語 スペイン語、アラビア語	1	政府交付金 広告料等	約457億円 (ラジオを含む。 2005年度)
フランス	フランス24 (同上)	株式会社 (2)	24	フランス語、英語、アラビア語 (2008~2010年にスペイン語 放送の開始を予定。)	3	政府交付金	約120億円 (2006年度)
中国	CCTV (同上)	国営放送	24	中国語、英語 スペイン語、フランス語	3	政府予算 広告料	非公表
韓国	アリランTV (KIBF(韓国国際放送交流財団))	財団法人	24	英語 (半分程度は、韓国製コン テンツに英語字幕を付し たもの。中国語、スペイン 語、アラビア語字幕あり。)	3	放送発展基金 政府交付金 広告料等	約53億円 (2005年度)

1 BBC(公共放送)の100%子会社

2 公共放送フランステレビジョンと商業放送TF1の共同出資により設立。昨年12月、放送開始。

注: 1ドル=110円、1ポンド=220円、1ユーロ=150円、1ウォン=0.12円で換算。